



高橋かつお ニュースレター

(第35号)

《連絡先》栗原市栗駒稲屋敷金田10-2 TEL/FAX. 0228-45-4249

社会新報

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
号外 (水曜日発行)〒100-8909東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03 (3592) 7515・振替00140・1・3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

議会閉会直後、指定廃棄物処分に関する特別委員会開催

市から、環境省との協議で、堆肥化の施設建設費用と、牧草地に堆肥を散布後、ロータリーで耕起し、牧草の播種までを行う草地の簡易更新が補助対象事業として認められたとの報告があった。また、製造堆肥は、市営牧場及び民有牧草地180ヘクタールに4年間に10アール当たり5トン散布する計画案も示された。施設建設場所は、市営上田山牧野(栗駒沼倉)を候補地とし、今後地元説明

会やJA栗っこ等関係団体との協議を進め、製造堆肥を使用しても良いという農家を募る予定との事であった。

委員からは、「候補地の発表は唐突である」「候補地は水源地になっている」「地域の方々から理解が得られるのか、丁寧な説明を求める」等の意見が出され、委員会としては、現地を調査する事になった。

第43回東京栗駒会総会 盛大に開催される。

6月23日(土)に上野駅近くの「上野東天紅」に160名が参集しました。この時期は、栗原市内の旧町村出身者でふる里を離れ、不安の中にあっても同郷の皆さんが力を合わせ、支えあいながら頑張ってきた東京〇〇会の総会のシーズンです。市内の旧町村で、東京〇〇会がないのは旧金成町だけで、旧築館町は休会中との事でした。ふる里の出来事や思い出を届けるため、栗駒地区の議員も招待を受けます。今年のアトラクションは栗駒・鶯沢商工会女性部、「七福一座」女相撲東京場所と題して、横綱土俵入りや取り組み、弓取り式が行われた他、カラオケ、お楽しみ抽選会で盛り上がり、最後は栗駒山唄を全員で踊り、来年の再開を誓い、万歳三唱で終了しました。

6月定例議会

(6月12日～26日) 報告

6月議会では、一般質問に18名の議員が登壇し、来年4月から実施予定の乗合デマンド交通や学校再編計画と跡地利用、いじめ・不登校対策等、多岐にわたり議論が交わされました。

審議された議案は、平成30年度に繰り越された「市役所南側の駐車場造成事業」などの報告議案3件(13億7,270万円)、事業費の確定などによる平成29年度補正専決承認12件(4億8,866万円の減)、平成30年度補正予算3件(7,269万円の増)、「国保税を一世帯当たり年額29,921円の引き下げや課税方式の変更」をする栗原市国民健康保険税条例の見直し等の条例議案6件、栗原市防災倉庫建設工事請負契約等のその他議案2件、人権擁護委員の候補者(佐藤治氏・花山)の推薦1件、を審議し全て原案の通り可決しました。

可決された 主な事業 (6月補正予算)

◎築館サービスセンター空調・給湯設備改修工事	2,705万円
◎栗駒国定公園指定50周年記念事業	140万円
◎担い手確保・経営強化支援事業補助金	1,602万円

(栗原から… まつりが消える)

by アオニサイ

夫 まつり百選に選ばれてきた、若柳武鎗の石尊神社の祭典が去る3月11日催されたが、例年のように仙台や石巻、近郷近在から多くのカメラマンが来てたな。

妻 地元では悩みが多いようだったよ。水をかぶる人も少なくなったし、ハツ鹿踊りも6人で踊ってたし、小学生の鶏舞神楽も少子化と指導者の高齢化を心配してたね。

夫 今10年も経つとどうなるんだが～。地域の活力が確実に落ちてきたからな。

妻 この悩みは栗原全域の問題で、栗原の伝統文化を維持する為になんとかしないと!!

夫 オレ栗原市が出した「お金の出所と使い道」という冊子を見てみたんだ。千葉市長は「特に若者定住を目標とした三本柱を掲げ、③教育伝統文化の向上(略)地域の歴史や伝統文化を大切に(略)まちづくりをすすめてまいります」とあって、この施策が進めば、オレ達の不安がなんとかなるのかな～と思ったんだ。具体策は何かとP17を見ると①栗原市民大学の開設②老朽化した公

民館の整備③若柳アスパルの改修費などP32には市民自が行うまちづくり活動を支援しますと、集会所施設の新改築修繕等の費用が計上されているだけで、市長の願いはどう具体化されるのかな～と思ったんだ。

妻 すべてのハード面の施策だよね。市長のいう歴史伝統文化を大切にする為のソフト面の具体策がほしかったと思ったの～。

夫 そうだな。市長が方向性を出しているのだから、おそらく教育委員会の社会教育課も、文化財保護委員会も、市の学芸員も市長の政策を実現すべく動いていると思うが、この冊子ではよく解らなつたな。

妻 市内に幾つかあるハツ鹿踊りや獅子舞グループの交流会を市主催でやるとか、助っ人制度を設けて人数不足の場合は応援するとか、何か動きを出してもらいたいね。

夫 文化団体は一度つぶれたら再起は難しいから今のうちに市が力を入れてほしいんだ。

皆さんの声を一般質問で、市政へ反映！

兼業・小規模農家や集団組織への機械購入助成支援を。(栗駒のAさん)

質問 登米市では、国の支援事業である経営体育成支援事業や農地中間管理事業を活用できない兼業農家や小規模農家を対象とした「がんばる農家支援事業」があり、農業用機械を取得する際に経費の6分の1以内（1戸当たり上限50万円）を助成する制度がある。栗原市でも兼業農家や小規模農家、集団組織等が農業機械を取得する際の支援策を検討すべきである。

回答 市では、作業の効率化や生産コストの減少に向け、基盤整備や規模拡大を進めている。兼業農家や小規模農家の農業用機械については、組織化等による共同購入や共同利用を推進している。共同利用組織への支援については、他の自治体を参考にしながら研究していく。

同じ栗中でも、鶯沢に住む生徒は一関の高校は受験できない。(鶯沢のOさん)

質問 宮城県教育委員会と岩手県教育委員会の間で、県立高校の入試に関する「県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱い協定」が締結されているが、締結に至った当時の背景と経過は。

回答 県立高校の学区はその県内で指定されていたが、交通事情や地理的要件により、高校教育の機会を失わぬよう、県境を越えた県立高校への入学を可能とし、昭和27年に締結されている。

質問 栗駒中学校と鶯沢中学校が平成25年に再編されているが、現在の協定では、同じ栗駒中学校の生徒でも旧鶯沢町居住の生徒は、一関市内の県立高校を受験できない事になっているので改善を求める。

回答 同じ学校に通う生徒の進路選択に閉塞感が生まれる事も考えられることから、今後、県教育委員会に対し制度の見直しを強くはたらきかけていく。

質問 現在の協定では、一関市内の県立高校を受験し、合格しなかった生徒は宮城県内の県立高校の二次募集を受ける事ができない事になっている。せめて二次募集だけでも受けられるようにしてほしい。

回答 県外の県立高校を受験したとしても、二次募集がない場合もあり、その時は私立高校を受験する事になる。その場合、通学に不便を生じる事も想定されるので、制度の見直しを県教育委員会に働きかけていく。

栗駒・尾松地区の「一の堰水路」の番水の解消はできないのか。(栗駒のSさん)

質問 一の堰水路は、高松・清水田・宝領・大鳥・八幡各地区の水田の水源になっているが、水量が少ない事から一週間に一回の番水になっている。用水路の末端では排水路からポンプでくみ上げている人もいる。一の堰水路への取水量を増やし、番水を無くす事はできないのか。

回答 一の堰頭首工からの取水量については、国土交通省の許認可事項であり、水利使用者である農林水産省が申請者となっている。次期改定期は平成35年3月となっているが、取水量については受益面積が基準となっており、転用等により水田面積が減少していることから、増量は難しい状況ではあるが、市として迫川上流土地改良区と共に、農林水産省東北農政局へ地元の事情を伝えていく。

臨時・非常勤職員の待遇改善を。(若柳のKさん)

質問 臨時・非常勤職員の待遇改善を目的とする「地方公務員法」が改正され、「会計年度任用職員制度」が2020年4月からスタートする。正職員に適用される各規定が適用され、給与や手当等が支給できるようになる。市としての取り組み状況について伺う。職種、職域別に臨時・非常勤職員は何人いるのか。

回答 病院事業除きで、「保育所・幼稚園教諭」で臨時118人、非常勤131人、「保育所等の調理員」で臨時45人、非常勤32人、「小中の学校補助員」で臨時1人、無非常勤38人、「その他事務補助員等」で臨時73人、非常勤77人、合計で臨時職員237人、非常勤職員278人、合計で515人。

質問 制度導入の際、特別非常勤職員として残す職と、会計年度任用職員に移行する職は。

回答 特別非常勤職員は、選挙管理委員会委員、監査委員、統計調査員、学校医などの職種で、会計年度任用職員としての任用は、特別非常勤職員以外の職とされ、保育士や幼稚園教諭、事務補助員、土木作業員などの種類に分類されている。

質問 2020年4月からの会計年度任用職員制度発足に向け、臨時・非常勤職員の方々や職員組合との協議、条例化の時期など具体的なスケジュールはどうなっているのか。

回答 平成30年度中に各職種の適正確保に向けた検討や任用、勤務条件等の確定を行い、2019年6月議会へ関係条例案を提出予定で、その後、会計年度任用職員の募集を開始する予定。関係者や職員組合とは、制度を策定する過程において随時、協議していく。

◎皆様からのご意見やご要望、疑問、提言、苦言などをお待ちしております。

お名前

ご住所

電 話

F A X

市政への思いをTEL/FAXでお寄せください (TEL/FAX 0228-45-4249まで)